

英国南部の中・小都市における交通安全への取り組みについて*

Traffic Safety Schemes in West Sussex

高 井 広 行**

By Hiroyuki TAKAI

1. はじめに

この度、イギリスの交通環境改善対策について調査研究する機会を得たのでその一部について報告する。ここでは、“イギリス南部の中・小都市における交通安全”についての現状を紹介したい。ここで対象とした都市は人口10万人以下のものであり、これらの都市は世界各国において最も多く存在し、各種の類似した問題を有しているものと思われる。また、交通事故発生は各国の特徴を反映しており興味深い点が多々ある。欧米諸国と日本を例にみると、死亡者数では日本はアメリカについて多く、ついでフランスとなっている。また、車利用者と歩行者の死亡者数の構成率をみると歩行者の死亡者の割合はポーランド、イギリス、日本の順に高い。10万人あたりの死亡者数はポルトガルが最も高く、ついでスペインとなっている。10万人あたりの歩行者死亡事故はポルトガル、ポーランドが高く、日本、イギリスも比較的高い数値を示している。そのような状況下において欧州各国の交通安全に対する取り組み方は我国に比べ積極的に行われており、先進的な国々であるといえよう。

2. 対象地区と交通運用

ここで対象とした都市はイギリスの南部に位置するWEST SUSSEX州における11の都市である。本地区において2006年までの新しい地域政策が次の5つの主目的で実施されている。

- ①地域の環境を保全あるいは改善する
- ②住民の生活を脅かすような新開発の要望を最小にする
- ③地域の現在および将来の住民と工業・商業の

成長のために経済的、社会的安寧を提供する
④移動の必要性やそれに係わるエネルギーが最小になるような開発を探し出す
⑤人々の旅行や貨物の移動が効果的に行われるような適正な方法や機会を提供する
とくに、本地域の主たる交通運用目標を示す次の5点となる。

- ①交通事故件数および被害を少なくする
- ②交通の流れおよび緊急車両の走行を改善する
- ③大型車に起因する不必要な問題を減少させる
- ④歩行者、自転車利用者の交通環境を改善する
また、これらと車両のコンフリクトを最小にする
- ⑤一般的な環境の質を改善する

本地域も政府の目標でもある“今世紀末までに3分の1（3943件→2629件）の人身事故減少計画”の実現を目指し各種の安全計画を掲げている。その具体的な計画の主なもの

- ①事故調査(AIP)計画の推進
- ②効果的な事故減少対策の積極的な検討
- ③完全な事故聴取の実施
- ④地区安全計画および道路安全教育の実施

となっている。また、安全計画も都市部とその周辺を対象を分け計画がされている。都市部においては危険性の高い地点を有する住宅地区における若年および老人の歩行者、自転車対策を中心に、また、周辺部においてはバイパス道路を建設し、その道路におけるトラフィックカーミング/環境改善対策の実施を中心に行う計画である。さらに、対象者を年齢別に分け安全教育を、また、自転車利用者、乗馬者、バイク利用者についても特別に指導を行い、さらに、ラジオ、TV等のマスコミを利用して幅広いキャンペーンを実施している。

その対象地区の位置図を図1に示す。これらの都市の人口は2~10万人規模であり、とくに、歩行者事故23%および自転車利用者の事故20%と弱

* キーワーズ：交通安全、交通弱者対策

** 正会員 工博 近畿大学教授 工学部

(〒729-17 東広島市高屋うめの辺1番

電話(0824)34-7000, FAX. (0824)34-7011)

者の事故が平均42%と高い割合を示し、過半数を越える都市も見られる。本地域ではこれらの弱者の事故件数の大幅な減少をターゲットとして努力している。

3. STEPPING AHEAD in West Sussex

この地方において上記に示した目標により積極的に交通安全計画を実施している。とくに、「徒歩は素晴らしい交通手段である。歩行者は大きな騒音、いやな臭い等の公害を発生させない。歩行者は人とぶつかったり、殺したりする事はいへんまれなことである。車は道具であり、我々の生命を抑圧すべきものではない。政府は進んで困難と戦う必要がある。(Faith Lawson: "Shaping the Way Ahead")」という見出しで、歩行者優先の計画を掲げている。内容は①歩行者を考慮して②設計基準③基準の改善④速度低減策の4つを主なる項目を取り扱っている。ここでは、それらの要点を46項目にまとめ、積極的な取り組みを行っている。この政策は歩行者のニーズを最重点に掲げ、とくに、活動困難者の交通安全、障害、環境、計画そして要求を考慮して作られている。この指針は1993年に「総合交通計画」に盛り込まれたものである。いま、それらの要点を表1に示す。

また、全体的な取り組みとして"DO'S & DON'T"の中で次のスローガンをあげている。

①ドライバー

- ・ 飲酒運転をしない
- ・ 赤信号に突っ込まない
- ・ 他の運転者じゃなく、自分の速度を落とす
- ・ 自分と前車両の間に安全な車間距離をとる
- ・ 歩行者と自転車に気をつける

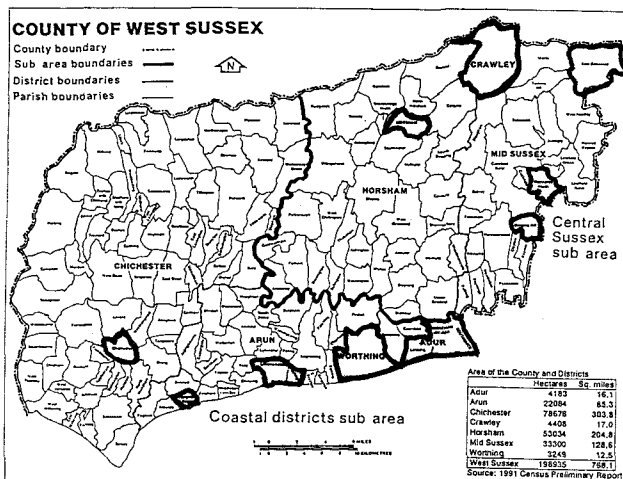


Figure 1 Location of Surveyed Cities

Table 1 Summary of Traffic Safety Scheme

<要点>

【歩行者を考慮して(Thinking Pedestrian)】

1. 歩行者の一般的な立場を向上させる
2. 歩行者が直面している問題、ニーズに細かく配慮するための運転者教育を行なう。
3. 歩行者のニーズの理解を深めさせる
4. 歩行者環境を改善するために歩行者と各種グループと協力して対策を協議する
5. 新開発や土地利用の変化より歩行者の最大の利益を保证する
6. 歩行者向上指定地域においては優先権を与える
7. 歩行者は交通政策、計画、他の業務計画においても最重点に扱われるよう保証する
8. 歩行環境を改善するために自治体、商・工業関係者と協働をとる
9. タウンセンターにおける交通量を減らす計画を支援する
10. 歩行者に優先権を与えるようにタウンセンターを改変する

【設計基準(Design Standards)】

11. 車道と同様の注意を払わせる歩行者道を計画する
12. モービリティハンディキャップをなくするような計画基準を考慮する
13. 盲目者協会によって提唱されている盲人用タイルを施工する
14. 新しい舗装や補修において、いままでの薄いスラブの使用を避ける
15. すべての新しい開発において街灯の設置を進める
16. 終日の照明を可能にする調査を実施する
17. 環境の質を考えた環境に優しい舗装材料の利用
18. 歩行者側から見た舗装の質、材料と環境面、安全面へのバランスのとれた投資
19. 新しい開発地区においてトラフィックカーミング対策を講じる
20. すべてのハイウェイ計画において歩行者の意見を聴取する

【基準の改善(Improve standards)】

21. 道路の維持補修に関わる財源を確保する
22. 歩行者に危険あるいは不便にならないように舗装の維持補修を行なう
23. 歩行者の利用にしたがって維持補修を考える
24. 地方道の重要性を考える
25. 舗装の要求が認められない場合は自治体が説明し、安全帯程度は確保する
26. めかろみなどから歩行者を守る対策を地区の自治体が行うべきである
27. サセックス警察と一緒に違法駐車に対して戦うようにする
28. 障害に対して注意をうながす
29. 店のディスプレイについて商業者、歩行者、法律の3者で調整すべきである
30. メディアを利用して通りの障害にならないようにする
31. 少なくとも1995年までの歩行者の安全性と可動性に関するトレンド分析を行なう
32. 道路工事中は歩行者の不便を最小にするための配慮を行なう
33. 自治体の道路作業における「安全に働くための条例」を作るべきである

【速度低減策(Reduced speed)】

34. 道路レベルの横断ができない道路においては地下道を設置する
35. 地下道には十分な照明と側溝を施工
36. 定期的な補修だけでなく醜い落書き等の清掃に関わる財源を確保する
37. 多数の歩行者交通量があるところはラウンドアバウトより交通信号を設置する
38. 交差点および横断歩道において一段低い緑石や盲人用タイルを施工する
39. 横断歩道はすべて道路面と同高で設置する
40. 歩行者が安全に横断できる横断歩道を作るため交通局のガイドラインを活用する
41. 歩行者のための安全地帯を出来るだけ多く設置する
42. 歩行者とくに老人、子供のための教育やトレーニングを頻繁に行なう
43. 歩行者の人身事故を避けることを最優先の安全計画を考える
44. 速度に気を付けさせるキャンペーンを統行させる
45. トラフィックカーミング対策と速度効果について歩行者の関心を引き起こさせる
46. 歩行者を安全、快適に保つための速度制限について交通局のガイドラインを活用する

(「STEPPING AHEAD in West Sussex」より)

②同乗者

- ・前後座席を問わず、いつでもシートベルトを着用する
- ・運転者の妨げにならない

③歩行者

- ・正しくペリカン クロッシングを利用する
- ・駐車車両の間より横断するときは十分に注意をする
- ・明るく、目立つ服装をする事、特に、夜間時には注意する

④自転車利用者

- ・ヘルメットを着用する
- ・いつでも明るく、目立つ服装をする
- ・自転車が道路での利用に欠陥がないか、照明にも異常がないか確かめる
- ・自転車道があるところは必ず利用する
- ・ラウンドアバウトや交差点では特に注意する

⑤両親

- ・子供が適切な交通安全教育を受けているか確かめる
- ・子供の見本になるように気をつける
- ・子供の自転車利用時には欠陥を調べ、必ずヘルメットを着用させる
- ・車で移動中にはこどもの安全を最重視する

存在する。また、イギリスの特徴の一つでもある駐車車両関係の事故発生が平均で13%と比較的高い割合を示している。いま、イギリスにおける住宅地区の駐車状況を写真1、2に示す。本地域においてはこれら弱者の事故発生を減少させるため“URBAN SAFETY MANAGEMENT SCHEME”を立案し、各都市に重点地域を指定し、上記に示した目標を掲げ、細部にわたり総合的な対策を講じようとしている。計画も5年計画と将来計画の両者を示し政府と歩調をとりながら積極的に取り組んでいる。

5. おわりに

中・小規模都市あるいは住宅地区において各種の対策が各国において異なった方法、考え方で行われているが、主なる対策は速度低下を目的としているものが多い。しかし、これを実施する方法は多くあるなかでも“ランドアバウト”が最も効果的であるという意見が圧倒的に多い。逆に、効果の少ないものとしては“40 Km/時ゾーン”、“スピードハンプ”等という報告がある。最後に、1年間お世話になったオールソップ教授、ウオード研究員始めUCLのTRANSPORT STUDIES GROUPの皆様に紙面をお借りして感謝の意を表したい。

4. 交通事故発生状況と取り組み

いま、ここで対象とした11都市における1987年から5年間の交通事故発生状況を表2に示す。一般的な発生状況は都心部で約1/3、主要道路で1/3、他の道路で1/3の事故が発生している。人口千人あたりの全地区の1年平均事故件数は3.012件/千人で、BOGNER REGISが4.893件/千人と最も高く、SHOREHAM/SOUTHWICK, LANCING/SOMPTING, WORTHING, CHICHESTERの順に高い。(筆者が調べた広島市内の住宅地平均値は2.749件/千人、広島県下では5.733件/千人)、重大(死亡+重傷)事故の割合は平均で17%、3地区で20%を越えている。歩行者事故の割合は平均で23%、自転車事故は平均20%合計すると43%が弱者関連の事故といえる。本地区において過半数を占めている地区が2地区

Table 2 Accidents Occurrences (1988-1992)
in West Sussex

ITEM AREA	Resident (1991)	Injury Accidents	Accidents/ Population	Fatal+Serious Accidents(%)	Pedestrian Accidents	P Cyclist Accidents	Parked vehicle (%)
East Grinstead	24,430	228	1.967	48(21.1)	63(27)	27(12)	33(14)
Crawley	98,500	1,166	2.635	161(13.8)	297(25)	174(15)	107(9)
Horsham	22,700	251	2.211	32(12.7)	46(18)	56(22)	28(11)
Hove	22,828	272	2.485	35(12.9)	77(28)	43(16)	39(14)
Burgess Hill	25,470	241	1.892	51(21.2)	59(24)	57(24)	24(10)
Shoreham-Southwick	22,732	458	4.419	93(20.3)	94(21)	87(19)	68(15)
Lancing/Sompting	18,442	393	4.262	75(19.1)	73(19)	83(21)	68(15)
Worthing	99,900	1,752	3.543	319(18.2)	372(21)	366(21)	265(15)
Littlehampton	25,438	385	2.178	68(17.7)	86(22)	112(29)	47(12)
Bogner Regis	22,642	505	4.893	75(15.1)	98(19)	127(25)	54(11)
Chichester	23,618	397	3.362	55(13.9)	114(29)	102(26)	49(12)
TOTAL	401,538	6,848	3.812	1,213(16.7)	1,378(23)	1,234(20)	774(13)
Great Britain	56,467	1,627	5.763	312(19.2)	279(17)	128(8)	—



Picture 1 Parking in Residential Area 1



Picture 2 Parking in Residential Area 2

<参考文献>

- 1) HEATHER WARD: A REVIEW OF INJURY ACCIDENTS IN URBAN AREAS OF WEST SUSSEX, UCL TRANSPORT STUDIES GROUP, 1991
- 2) THE DEPARTMENT OF TRANSPORT: ROAD ACCIDENTS GREAT BRITAIN 1992 (CASUALTY REPORT), HMSO, 1993
- 3) WEST SUSSEX COUNTY COUNCIL: TRAFFIC IN WEST SUSSEX, 1991
- 4) WEST SUSSEX COUNTY COUNCIL: TRANSPORT POLICY AND PROGRAMMING (FOR WEST SUSSEX 1994/1995)
- 5) WEST SUSSEX COUNTY COUNCIL: A Step Ahead IN WEST SUSSEX, 1991
- 6) WEST SUSSEX COUNTY COUNCIL: STEPPING AHEAD in West Sussex, 1993
- 7) WEST SUSSEX COUNTY COUNCIL: HIGHWAY COMMITTEE ROAD CASUALTY REPORT FOR 1992, 1993
- 8) WEST SYDNEY REGIONAL ORGANISATION OF COUNCILS-GEOPLAN TOWN PLANNING: NEIGHBOURHOOD ROAD SAFETY AND AMENITY, 1990
- 9) DANISH ROAD DIRECTORATE: SPEED MANAGEMENT IN URBAN AREAS, 1990